宝塚市におけるシジミチョウ２種の採集記録

新家　　勝

幼虫の時期に、アブラムシと係わりをもつシジミチョウ２種の採集記録について報告させていただく。

1．Taraka hamada Druce　ゴイシシジミ

Ⅴ．30.1987　宝塚市安倉北四丁目　愛宕山神社

参道でトンボを探していたところ、白いシジミがひょうひょうと飛んだので、よく見ると羽化後、間もないふにゃふにゃの個体であった。宝塚市内では、Ⅹ.18.1970清荒神という記録が、本誌第９巻第２号で加藤信一郎氏によって報告されているので、中山、安倉方面での採集を期待していた。そして、宝塚在住10年、1984年以来４年、愛宕山神社付近へ出掛けたところ、初めてお目にかかった。しかし、その後も、土、日には大抵ここを訪れているが、見つからない。誰かが飼っていたものが逃げ出したか、たまたまどこからか紛れ込んで来たかして産卵し、ネザサに発生するアブラムシを食って生長し、羽化したものであろう。採集例は少ないが、市内のどこかで細々と生き延びているのではないかと思われる。

2．Niphanda fusca shijima Fruhstorfer　クロシジミ

Ⅶ．12.1987　宝塚市長尾山　中山山頂

中山山上は、コナラ、コバノミツバツツジなど背の低い雑木が多く、日当たりも抜群によいので、多くのチョウ達が集って来る。1984年に知人の福井恭次氏が、ここで本種を採集しておられるので、いつも注目していたところ、今回初めて採ることができた。宝塚市内の他の産地として、Crude No.29 Dec.13.1986 において緒方正雄氏が、逆瀬川を紹介しておられる。